

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 大阪 06 (586)1122
 南部事業本部 〒590-0373 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131
 和歌山支社 〒640-8033 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481
 北東部事業本部 〒578-0925 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(62)1131
 北部事業所 〒569-0025 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0726(71)0361
 奈良支社 〒631-0036 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111
 兵庫事業本部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100
 姫路支社 〒670-0836 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(86)2221
 豊岡支社 〒668-0047 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221
 京滋事業本部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1 電話 京都 075(311)7381
 滋賀支社 〒525-0037 草津市西大路町5-34 電話 草津 077(562)5311
 滋賀東支社 〒522-0074 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131
 長浜営業センター 〒526-0058 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)2171
 本社 〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

△危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。

ガスBFふろがま

給湯・シャワー付タイプ

32-880～883型

31-816～819型

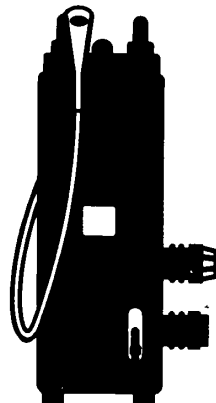
31-814・815型

31-696～699型

31-836～839型

(31-836～839型のみBL認定品)

型式名
RBF-100NDW
RBF-65NW
RBF-65NS
RBF-65ND
RBF-65NDW



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスBFふろがま(給湯・シャワー付)をお求めいただきましてまことにありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。
●本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく機器の寿命が短くなります。

もくじ

●特長・機能のご紹介	1
●安全のために必ず守ってください	2
●各部のなまえと扱い	8
●初めてお使いいただくときに	9
●使用方法	10
●凍結予防のしかた	16
●点検・お手入れ	17
●故障かな?と思ったら	18
●仕様	20
●保管とアフターサービス	25

特長・機能のご紹介

● 空気を汚さず快適です。

燃焼に必要な空気を屋外から取り入れ、排気も屋外へ。
浴室内の空気を使いません。



● 1台で3役。

このふろがまは給湯器を内蔵していますので、追いだしシャワー・あがり湯と1台3役の働きをします。
また、能力切替と湯温調節装置とで、経済的な湯かげんができます。



● お好みの湯温にできます。

シャワー・あがり湯は、湯温調節つまみと能力切替つまみの組み合わせでお好みの湯温に調節できます。
(12ページをご覧ください。)
また、シャワーと出湯管(蛇口)の切替はワンレバー操作です。

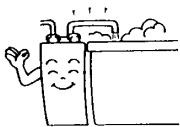


● 耐久性にすぐれています。

外装に耐久性のあるステンレスを使用しています。

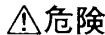

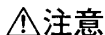


● ふろを沸かすときは、水からよりもお湯(出湯管から浴槽へ給湯する)からの方が早く沸きます。



安全のために必ず守ってください

この製品および取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	意味
 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷害: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

下に示す記号は取扱説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。総表示の意味は次のようになっています。書かれた内容を注意深くお読みください。

-  一般的な危険・警告・注意
-  火災注意
-  高温注意
-  一般的な禁止
-  火気禁止
-  接触禁止
-  分解禁止

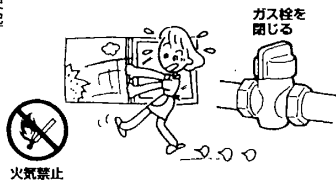
 **必ず行う**

危険

■ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときは全ての処置が終わるまでの間絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

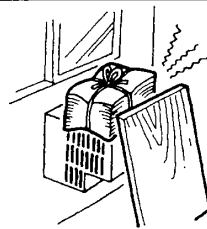
- ※万一ガス漏れに気付いたら
- ①すぐに使用をやめガス栓を閉じる。
 - ②窓や戸を開けガスを外へ出す。
 - ③販売店または大阪ガスに連絡してください。



●機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れて読めなくなった時は、やわらかい布などで汚れをふきとってください。またお手入れの際には、はがれないようご注意ください。もし、はがれたり読めなくなった場合は新しいラベルに張り替えてください。ラベルは販売店でお求めください。

危険

- 給排気筒の定期点検
- 給排気トップが外れたりつまったり、ふさがっていると排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



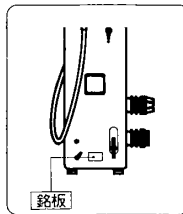
警告

- 使用ガスについてのご注意
- 銘板に表示してあるガス(ガスグループ)を使用する。表示以外のガスで使用すると不完全燃焼及び爆発点火の原因になります。

＜表示の内容＞

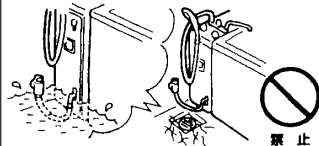
型式名
 ガスの種類およびグループ
 ガス消費量
 製造年月および製造番号
 製造業者名

ガスの種類を確かめる



例) 98.01(1998年1月製造)

- 排水口はこまめに掃除する
- 排水口が詰まると、機器内に水が侵入して点火の際に炎がふくれ火災や機器の損傷の恐れがあります。



■設置についてのご注意

- この機器の設置・移動及び付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

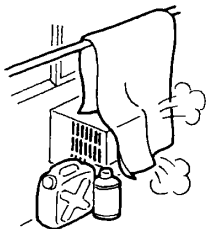


安全のために必ず守ってください

警告

■機器・給排気筒の周辺について

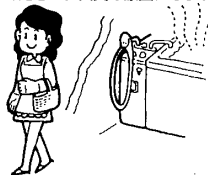
- 給排気筒を波板などで囲わない。
- 機器や給排気筒周囲に可燃物や引火性のあるもの(ガソリン、ベンジン)・スプレー缶を置かない。
- 給排気筒を洗濯物やビニールなどで覆わない。不完全燃焼や火災の恐れがあります。
- 給排気筒を増設築などによって屋内状態にしない。また、波板などで囲わない。一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



火災注意

■使用中の外出・就寝禁止

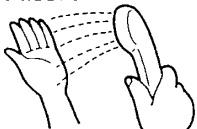
- 火をつけたまま就寝や外出は絶対しないでください。火災の原因になります。



外出
就寝禁止

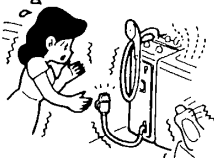
■やけどに注意

- シャワー(上がり湯)を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。いきなり頭や体にかげず、手でお湯の温度を確認してください。



高温注意

- 使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災など緊急の場合、あわてず使用を中止し、ガス栓を閉じてください。



使用を
中止する

- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理改修は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れがあります。



分解禁止

- ふろを沸かしているときや浴槽に湯はりをしているときに、子供を浴室で遊ばせないでください。浴槽に落ちると思わぬ事故につながることがあります。



禁止

注意

■ガス事故防止

- ガス配管工事は専門の資格技術が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。

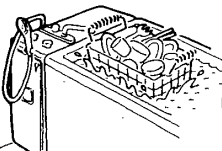


■点火時の注意

- (異常な点火・着火防止のために)
- 機器消火後に再点火するときは、1分以上待ってから行ってください。
- パイロットバーナーに点火しなかったときや途中で失火したときは、2〜3分待ってから再点火してください。
- 3秒以上たってもメンバーバーナーに着火しないときは、点火つまみを一旦「止」の位置に戻し、10分以上待ってから再操作してください。
- 再操作しても点火・着火しないときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■用途についてのご注意

- 給湯・シャワー・追いだし以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。



禁止

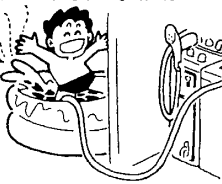
■やけどの注意

- 使用中や使用直後は給排気筒が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。やけどの恐れがあります。



接触禁止

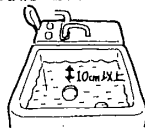
- 出湯管(蛇口)にゴムホースやビニールホースを接続して他所へ給湯しないでください。思わぬ事故の原因となります。



禁止

■空だきの注意

- 追いだきするときは、浴槽の水位が上部循環口より上(10cm以上)にあることを確かめてください。水位が循環口より低いと、火災・空だきによる機器の故障や浴槽の損傷の原因になります。



水位を
確かめる

安全のために必ず守ってください

△注意

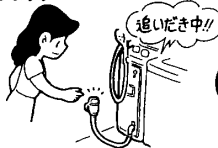
■入浴時の注意

●追いだき中や追いだき後は、浴槽のお湯の上部と下部では相当の温度差があるので入浴時には十分にかきまぜてください。やけどの危険があります。



■消火時のご注意

●追いだき中やシャワー使用時ガス栓での消火はおやめください。爆発点火の恐れがあります。



△お願い

■本製品は家庭用です。

業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が短くなります。

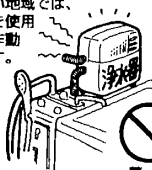


■機器内には長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に使用しないで、雑用水としてお使いください。

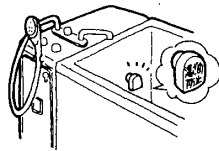


■市販の補助具について

●この機器の純正部品以外は使わないでください。又、水圧の低い地域では、泡まつ水栓や浄水器を使用しないでください。作動不良の原因になります。



●市販の湯ざめ防止器など取り付けて使わないでください。作動不良や損傷の恐れがあります。



△お願い

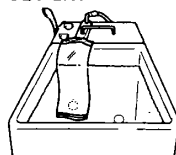
■浴室用洗剤について

●塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤、消臭剤または塩などが機器本体やガス管などにかかった場合はすぐに十分水洗いをしてください。



■入浴時のご注意

●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。ふさがると循環不良となり追いだきができません。



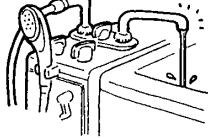
■ガス事故防止

●使用時の点火・使用後の消火を確認してください。又、お出かけやおやすみの時、長期間ご使用にならない時は安全のためガス栓を必ず閉めてください。



■冬期の凍結による破損防止について

●寒い地方でも、急な寒波のため機器内の水が凍結し機器や配管を破損することがあります。機器内の水を抜くか通水による方法のいずれかの凍結破損防止をとってください。



■入浴剤のご使用は

●イオウ、酸、アルカリをふくんだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となるものがありますので入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

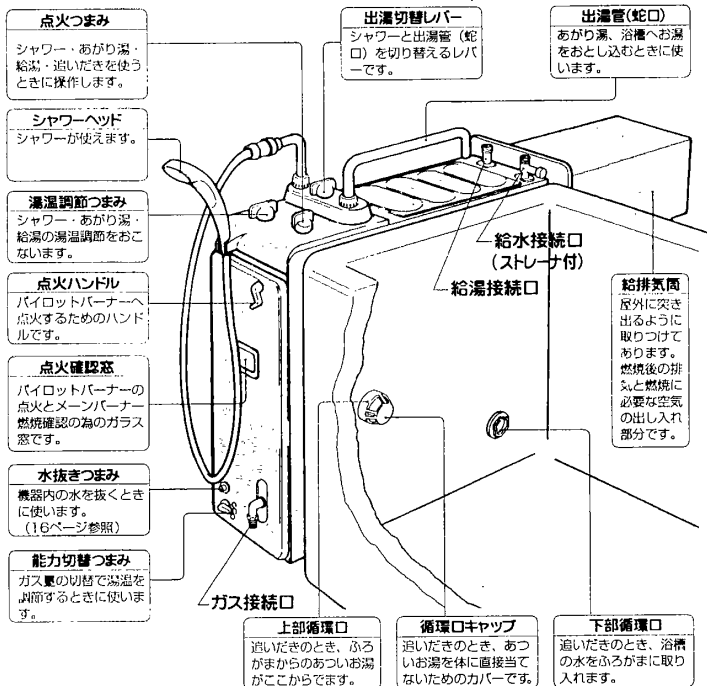
●給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青く見えることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。



●このふろがまの設置工事及び変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後機器本体に法定の表示ラベルを張り付けることになっておりますので確認してください。

特定ガス消費機器の設置工事の施行に 関係する表示ラベルの貼付位置	
ガス消費機器 の設置場所	設置場所
ガス消費機器 の型式	型式
ガス消費機器 の容量	容量
ガス消費機器 の設置日	設置日
ガス消費機器 の設置場所	設置場所
ガス消費機器 の設置場所	設置場所

各部のなまえと扱いかた



本図は右水管の場合を示します

左水管の場合は、

- 給水接続口・給湯接続口が本図より位置が逆になります。
- 出湯管（蛇口側）とシャワー側が本図より位置が逆になります。
- 能力切替つまみが逆になります。
- 上部循環口は、後側になります。

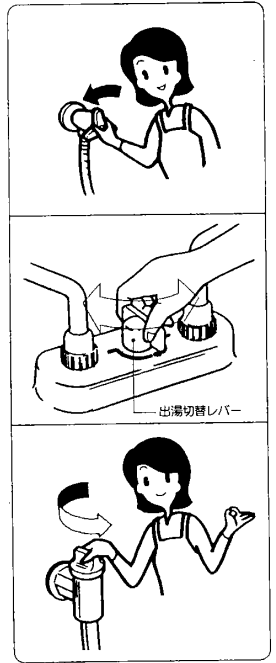
初めてお使いいただくときに

●このふろがまは、給湯機能付です。水から沸かすより出湯管でお湯はりしてから、追いかけてご使用ください。

ふろの追いかけていただけるのは浴槽のお湯（または水）が循環口キャップの上10cm以上ある場合に限りです。

●ご使用前の準備と確認

- 1 水抜きつまみが開いているか確認してください。
- 2 給水元栓を全開にしてください。
- 3 ガス栓は閉じたままで、出湯切替レバーを右及び左へいっぱい回し、シャワー・出湯管の各々から水の出ることを確認してください。
- 4 出湯切替レバーを真ん中までもどし、給水配管部より水漏れがないか確認してください。
- 5 点火つまみが止の位置にあることを確かめてガス栓を開けてください。



使用方法

●パイロットバーナーの点火

1 「**点火つまみ**」を押したまま左へ回し、「**点火**」の位置に合わせます。

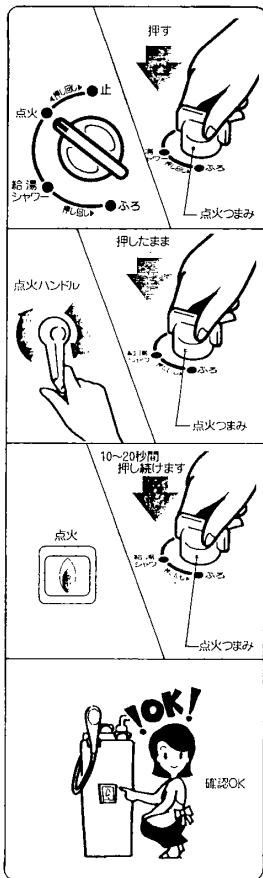
2 「**点火**」の位置で「**点火つまみ**」を押したまま、「**点火ハンドル**」を右へ数回、回しますとパイロットバーナーが点火します。

はじめて使用される場合はガス管等に空気が溜っていますので、1回で点火しない場合があります。このときは、5ページ上の「**点火時の注意**」に従って点火操作を繰り返してください。

3 点火確認窓からパイロットバーナーの点火を確認してから、そのまま約10～20秒間「**点火つまみ**」を押し続けます。

4 押している手を離してもパイロットバーナーが点火していることを確認してください。

「**点火つまみ**」を押している時間が短かったり、押しかがたが弱いと、手を離したときにパイロットバーナーが消えることがあります。そんなときは、もう一度②・③の操作をやり直してください。



●給湯・シャワーの使い方

1 「**点火つまみ**」を、「給湯・シャワー」の位置に正しく合わせます。

2 「**出湯切替レバー**」を「右」または「左」へいっぱい回します。

- 途中の位置では使用しないでください。
- 点火音が生じて出湯管又はシャワーよりお湯がでます。

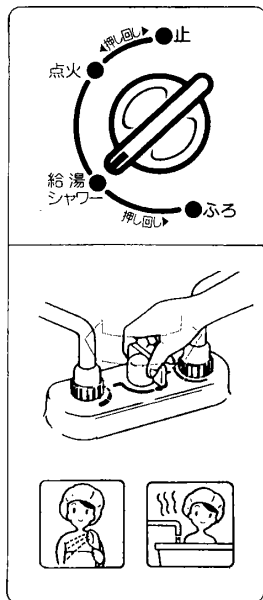
給湯・シャワーでお湯を使用中に「**点火つまみ**」を「ふる」まで回すと、同時に追いつきすることができます。(浴槽の水位が循環ロキヤップより10cm以上上までであることを確認してください。)ただし、31-696～699型と31-814・815型は同時使用できません。

警告

- シャワー(あがり湯)を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。いきなり頭や体にかげず、手でお湯の温度を確認してください。



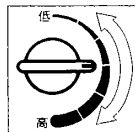
- シャワー使用中に給湯配管先でお湯を使いますと、シャワーの湯量に変化し、快適なシャワーが使えませんのでなるべくさけてください。
- 断水後は、水道配管中に空気が混入し、そのまま使用されますとお湯が沸騰することがありますので、一度水を流し、空気が抜けたことを確認してからご使用ください。



使用方法

3 湯温を調節します。

(1) **湯温調節つまみ** で湯温を調節します。



湯温調節つまみ

●「高」に回すと湯温が違ってあつくなります。



●「低」に回すと湯温が増えてぬるくなります。



32-880~883 「低」で1分間に約11ℓのお湯が、「高」で約5ℓのお湯がです。

その他 「低」で1分間に約8ℓのお湯が、「高」で約3ℓのお湯がです。

ただし、水圧等により上記水量にならないこともあります。

①湯温調節は、必ず湯温調節つまみで行ってください。出湯切替レバーでの湯量の調節はしないでください。

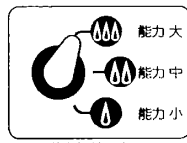


②湯温調節つまみは同じ位置につまみを合わせても、水温や水圧の変動により湯温が変わる場合がありますので、湯温を確かめてからご使用ください。



(2) **能力切替つまみ** で湯温を調節します。

季節によって水温が変わると、**湯温調節つまみ** ではお好みの温度が得られないことがあります。**湯温調節つまみ** を「低」にしても、お湯があつすぎたり、「高」にしてもあつくないときは、**能力切替つまみ** を回して調節します。



能力切替つまみ

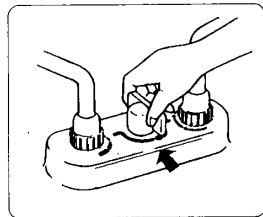


能力切替つまみ は必ず ●●●・●●・● のいずれかの位置(3段階)でお使いください。

つまみを ●●● と ●●・●● と ● の途中で使用しないでください。

4 止めるときには**出湯切替レバー**を真ん中まで戻します。

●お湯が止まります。パイロットバーナーは点火しています。



気を付けて
いただきたい
こと

●長時間(60~80分)追いだきした直後や機器の故障などの場合、シャワーから熱いお湯が出るのを防ぐために出湯を停止することがあります。この場合は出湯管から熱いお湯を流して、適温になったことを確認してからシャワーに切替えてください。また、お湯の断続使用後など、追いだき直後以外に頻繁にお湯が止まる場合は、機器の故障の可能性があります。お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

- お湯が自動停止したときは、一旦 **出湯切替レバー** を戻して約10分間そのままにしておけば再使用できます。
- 出湯管から熱いお湯を流すときは、やけどに十分注意して行ってください。

使用方法

●給湯配管してある給湯栓での使い方

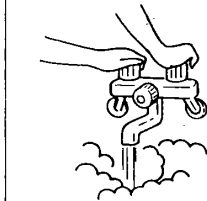
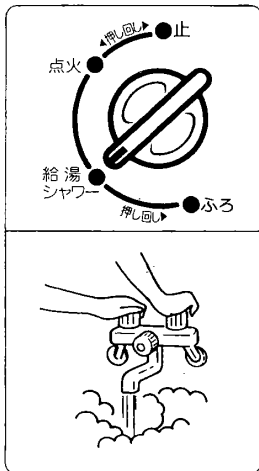
■この機器から給湯配管(別途工事)して、台所や洗面所でもお湯が使えます。

1 点火つまみを「給湯・シャワー」の位置に正しく合わせます。

2 使用する場所の給湯栓をあげれば、お湯がでます。

- 浴室以外でお湯をご使用になる場合、お湯がでくるまで時間がかかります。
- 浴室以外でお湯を使用中に浴室のお湯かシャワーを使いたいときは、出湯切替レバーを操作すれば使えますが湯量は減ります。
- 混合水栓で使用される場合、給水側を出し過ぎるとお湯にならないことがあります。
- 給湯先でお湯を使用中にふろの追っだきをすることができます。(点火つまみを「ふろ」まで回す)

気をつけて
いただきたい
こと

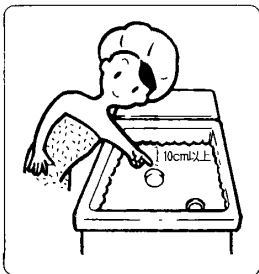


●お風呂を沸かす場合(追っだき)

■浴槽へ水を入れてから沸かすより、出湯管からお湯を入れたほうが早くて経済的です。

1 点火前に浴槽の水(またはお湯)が、循環口キャップの上10cm以上あることを確かめてください。

●浴槽の排水栓は、水漏れのないようしっかり差し込んでください。



2 点火つまみを押しながら「ふろ」に合わせます。

●点火音が出て追っだきを始めます。

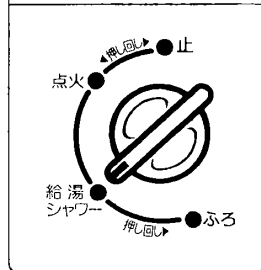
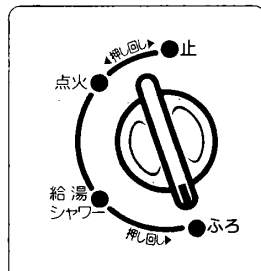
お湯(または水)が少ないと空だき状態となり機器の寿命を短くします。この状態を長く続けると危険です。水位には特にご注意ください。

■追っだきしながら給湯・シャワーを同時に使用することができます。ただし、31・696・699型と31・814・815型は同時使用できません。

3 追っだきを止めるときは点火つまみを「給湯・シャワー」または「点火」の位置に合わせます。

●追っだきを停止します。

■あとでお湯を使う場合は「給湯・シャワー」の位置にしておくことすぐ使用でき便利です。



●ご使用後

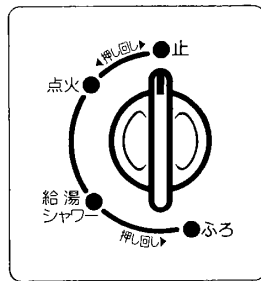
1 出湯切替レバーを真ん中に戻します。

●給湯配管先の給湯栓を確実に閉めてください。

2 点火つまみを押しながら「止」に戻します。

●パイロットバーナーが消火します。

●消火したことを「点火確認窓」から確かめてください。
●入浴がすんでおやすみになる前、お出かけのときはガス栓、給水元栓も必ず閉めてください。

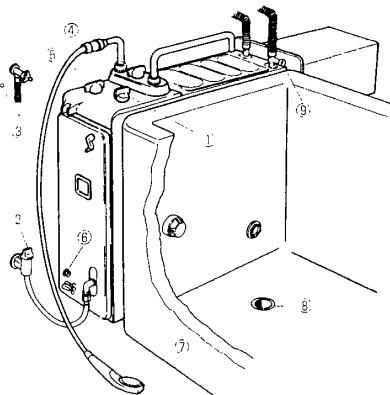


凍結予防のしかた (暖かい地域でも使いのお客様も必ずお読みください。)

冬期は暖かい地方でも急な寒波による凍結のため機器や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかる場合があります(有償)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置をおこなってください。

●機器内の水を抜く方法 (入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください。)

- ① 点火つまみ①を「止」の位置に戻します。
- ② ガス栓②、給水元栓③を閉めます。
- ③ 出湯切替レバー④を出湯管(蛇口)側にします。
(台所・洗面所などに給湯配管している場合は配管先の給湯栓も全開にします。)
- ④ 湯温調節つまみ⑤「低」に回し、水抜きつまみ⑥と給水接続口のストレーナー⑦を左に回してゆるめ機器内の水を抜きます。
- ⑤ シャワーヘッド⑧をハンガーからはずし、床面まで下げシャワーホース内の水を抜きます。
- ⑥ 浴槽の排水栓⑨を抜き、浴槽の水を抜きます。
- ⑦ 次に使用するときには水抜きつまみ、給湯先の給湯栓(給湯配管している場合)を閉め、ガス栓、給水元栓を全開にし、出湯切替レバーを出湯管(蛇口)側に回して水の出ることを確認してから操作してください。



●水を流しっ放しにする方法 (この方法は給水配管の凍結予防ができます。)

- ① 点火つまみ①を「止」の位置にし、ガス栓②を閉めます。
- ② 出湯切替レバー④を出湯管(蛇口)側にします。
- ③ 給水元栓③で水を1分間約200cc(牛乳ビン1本くらい)流れるよう調節し、流しっ放しにしてください。

●上記の方法をしないで、機器が破損した場合は保証期間内でも有償です。
●凍結したまま使われますと、機器に異常を生ずる場合があります。凍結が溶けた後、水漏れがないのを確認の上、ご使用ください。

点検・お手入れ お願います確かめてください。

①ガス栓を閉じる ②機器が冷えている

警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理改造は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れがあります。



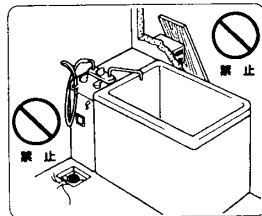
分解禁止

定期点検のおすすめ

安心して、より長くご使用いただくために定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

●点 検

- ガス接続部からガス漏れしていないか時々点検してください。
- 給水接続口のストレーナーを時々掃除してください。
- 外壁に突き出した給排気高の給気口・排気口をふさぐようなぞうさん・板などが無いのか点検してください。
- 浴室内の排水口を詰まらせないように常に水はけが良くなるよう時々掃除してください。



いつまでもきれいに使いたいのために

- 使用後は、窓をあけ換気をよくしてください。
- 乾いた布で本体についた水分を拭きとってください。
- つまみなどにできるだけ水や湯がかからないようにしてください。

●お手入れ

① 外観の掃除

- やわらかい布に中性洗剤をつけて軽く拭いてください。

ステンレスでもさびることがあります。金属製のヘアピン、カミソリ、おもちゃ、金属片等を置いたままにしておきますと、さびる原因となります。万一さびが浮き出た場合は乾いた布で拭き取ってください。そのまま放置しますと、さびは進行していきますのでご注意ください。金属タワシやワイヤブラシをこすらないでください。

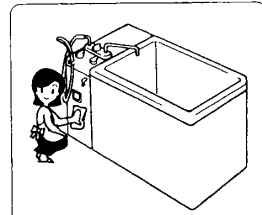
- 浴槽やタイルのみがき用薬品をご使用のとき、機器本体に原液が付着すると、腐食を著しく促進させますのでご注意ください。

② ふろがま内の掃除

上部循環口の循環口キャップをはずし循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します。上・下の循環口を交互に水洗いしてください。


③ シャワーヘッドの掃除

シャワーヘッドの噴出口をときどき針などで掃除してください。



故障かな?と思ったら

●こんな場合は故障ではありません。

	
長時間使用しなかった後、なかなかパイロットバーナーに点火しない。	5ページ右上の「点火時の注意」に従い、パイロットバーナーに点火するまで点火操作を行ってください。
給湯栓を開いてもすぐにお湯がでてこない。 〔洗面所、台所などに給湯配管をされているとき〕	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯がでてくるまでには少し時間がかかります。
高温出湯にするとお湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると、気泡となってあらわれるため、異常ではありません。
冬期、給排気筒から白い煙が出ることもある。	ガス燃焼中に発生する水蒸気等でガス漏れではありません。
追いだき中に浴槽内をかく拌すると「ポコン ポコン」と異音が発生することがある。	かく拌することでふるがま内のお湯の流れが変わるからです。かく拌を止めると自然に止まります。
使い始めや、使い終わってからしばらくして、機器で「ポコン」と音がすることがある。	本体が温められたり、冷えていくときに多少伸びたり縮んだりするためです。

⚠警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。

①あわてず、ガス栓を閉める

■故障かな?と思ったら、ただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなたとき (現象) お調べいただくこと (原因)	パイロットバーナー	メインバーナー					処置方法	参照ページ
	点火しない・しにくい 点火つまみから手を離すと消える	着火しない・しにくい 使用中に消火する	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	高温では着火するが低温では着火しない	出湯切替レバーを操作しても着火しない		
ガス栓の開け忘れ・不十分	○	○	○				ガス栓を全開にする	9
ガスが無い(LPガス用)	○	○	○	○			☛交換を依頼する	-
ガス圧が適切でない	○	○	○	○	○		☛点検を依頼する	-
ガス管の折れ曲り・つぶれ	○	○	○	○			折れ、曲りを直す又は交換する	-
給水元栓の開け忘れ、不十分		○	○	○	○		給水元栓を全開する	9
水圧が適切でない		○	○	○	○		☛点検を依頼する	-
ストレーナづまり		○	○	○	○		ストレーナを掃除する	17
凍結している						○	解凍まで使用を中止	16
点火操作が適切でない	○						「使用方法」のP10参照	10
点火つまみ保持時間不足		○					「使用方法」のP10参照	10
循環パイプ施工不良						○	☛点検を依頼する	-
バーナー炎口づまり		○					☛点検を依頼する	-
浴槽の水が少ない			○			○	浴槽に水を加える	14
点火つまみの位置が適切でない						○	「使用方法」のP14参照	14
出湯切替レバーの位置が適切でない				○		○	「使用方法」のP11参照	11
湯温調節つまみの位置が適切でない				○	○		「使用方法」のP12参照	12
能力切替つまみの位置が適切でない				○	○		「使用方法」のP12参照	12
安全装置が作動	○	○	○	○			☛点検を依頼する	-

●☛印、または再び同じ状態になるときや、ご不明な点はお買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

●修理は絶対にお客様ご自身でなさらなくてください。不完全な処置は事故のもとになります。

仕様

■仕様

品 番	32-880型-881型-882型-883型			
型 式 名	RBF-100NDW			
外 形 寸 法 (mm)	高さ640×幅230×奥行560			
質 量 (kg)	本体 18.0 給排気筒 200型 3.5			
点 火 方 式	圧電点火式			
配 管 接 続 口 径	ガ ス	15A(R1/2)		
	給 水	15A(R1/2)		
	給 湯	15A(R1/2)		
1時間当りの ガス消費量	給 湯 (大)	ふ ろ	同時使用時	
	都市ガス用13A(kcal/h)	20.9(18,000)	6.16(5,300)	26.7(23,000)
	LPガス用kW(kg/h)	20.7(1.46)	5.86(0.42)	26.2(1.88)
出 湯 能 力 (ℓ/分)	水温+15℃上昇	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
	都市ガス用13A	(16.7)	10.0	6.3
	LPガス用	(16.7)	10.0	6.3
※沸き上り 時間(分)	都市ガス用13A	70		
	LPガス用	74		
循 環 口 取 付 口 径	φ45mm			
給 湯	最低作動水圧	出湯管 高29.4kPa～低39.2kPa(高0.3kgf/㎝ ² ～低0.4kgf/㎝ ²)		
	水 量	シャワー 高49.0kPa～低58.8kPa(高0.5kgf/㎝ ² ～低0.6kgf/㎝ ²)		
給 排 気 筒	壁貫通部穴径：高さ350mm×幅230mm			
安 全 装 置	・立消え安全装置・過圧防止安全装置・過熱防止装置 ・空だき安全装置・HCTバルブ			
付 属 品	取扱説明書・工事説明書・保証書			

※浴槽180ℓの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
 ◎本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
 ◎出湯能力は計算値です。
 ◎使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のときです。

■仕様

型 番	31-816型・817型・818型・819型			
型 式 名	RBF-65NW			
外 形 寸 法 (mm)	高さ640×幅230×奥行560			
質 量 (kg)	本体17.5 給排気筒200型 3.5			
点 火 方 式	圧電点火式			
配 管 接 続 口 径	ガ ス	15A(R1/2)		
	給 水	15A(R1/2)		
1時間当りの ガス消費量	給 湯 (大)	ふ ろ	最大(同時使用時)	
	都市ガス用13A	14.4kW(12,400kcal/h)	9.88kW(8,500kcal/h)	23.8kW(20,500kcal/h)
	LPガス用	14.4kW(1.03kg/h)	9.94kW(0.71kg/h)	23.9kW(1.71kg/h)
出 湯 能 力 (ℓ/分)	水温+15℃上昇	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
	都市ガス用13A	(10.7)	6.5	4.0
	LPガス用	(10.6)	6.5	4.0
※沸き上り 時間(分)	都市ガス用13A	44		
	LPガス用	44		
循 環 口 取 付 口 径	φ45mm			
給 湯	最低作動水圧	出湯管 高29.4kPa～低39.2kPa(高0.3kgf/㎝ ² ～低0.4kgf/㎝ ²)		
	水 量	シャワー 高49.0kPa～低58.8kPa(高0.5kgf/㎝ ² ～低0.6kgf/㎝ ²)		
給 排 気 筒	壁貫通部穴径：高さ350mm×幅230mm			
安 全 装 置	・立消え安全装置・過圧防止安全装置・過熱防止装置 ・空だき安全装置・HCTバルブ			
付 属 品	取扱説明書・工事説明書・保証書			

※浴槽180ℓの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
 ◎本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
 ◎出湯能力は計算値です。
 ◎使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準ガス圧力のときです。

仕様

■仕様

型番	31-814型-815型			
型式名	RBF-65NS			
外形寸法(mm)	高さ640×幅230×奥行560			
質量(kg)	本体17.5 給排気筒 200型 3.5			
点火方式	圧電点火式			
配管接続口	ガス	15A(R1/2)		
	給水	15A(R1/2)		
1時間当りのガス消費量	燃火(給湯・大)		ふる	
	都市ガス用13A	14.4kW(12,400kcal/h)	9.88kW(8,500kcal/h)	
	LPGガス用	14.4kW(1,03kg/h)	9.94kW(0.71kg/h)	
出湯能力(ℓ/分)	水温+15℃上昇	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
	都市ガス用13A	(10.7)	6.5	4.0
	LPGガス用	(10.6)	6.5	4.0
※沸き上り時間(分)	都市ガス用13A	44		
	LPGガス用	44		
循環口取付口径	φ45mm			
給湯	最低作動水圧	出湯管 高29.4kPa～低39.2kPa(高0.3kgf/㎝ ² ～低0.4kgf/㎝ ²)		
	水重	シャワー 高49.0kPa～低58.8kPa(高0.5kgf/㎝ ² ～低0.6kgf/㎝ ²)		
給排気筒	壁貫通部穴径：高さ350mm×幅230mm			
安全装置	・立消え安全装置・過圧防止安全装置・過熱防止装置 ・空だき安全装置・HCT/ループ			
付属品	取扱説明書・工事説明書・保証書			

※浴槽180ℓの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。

◎本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

◎出湯能力は計算値です。

◎使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準ガス圧力のときです。

■仕様

品番	31-696型-697型-698型-699型			
型式名	RBF-65ND			
外形寸法(mm)	高さ640×幅230×奥行560			
質量(kg)	本体17.0 給排気筒 200型 3.5			
点火方式	圧電点火			
配管接続口	ガス	15A(R1/2)		
	給水	15A(R1/2)		
	給湯	15A(R1/2)		
1時間当りのガス消費量kW(kcal/h)	給湯(大)		ふる	
	都市ガス用13A	14.4(12,400)	9.88(8,500)	
	都市ガス用13A	14.4(12,400)	9.88(8,500)	
出湯能力(ℓ/分)	水温+15℃上昇	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
	都市ガス用13A	(10.7)	6.5	4.0
	都市ガス用13A	(10.7)	6.5	4.0
※沸き上り時間(分)	都市ガス用13A	44		
循環口取付口径	φ45mm			
給湯	最低作動水圧	出湯管 高29.4kPa～低39.2kPa(高0.3kgf/㎝ ² ～低0.4kgf/㎝ ²)		
	水重	シャワー 高49.0kPa～低58.8kPa(高0.5kgf/㎝ ² ～低0.6kgf/㎝ ²)		
給排気筒	壁貫通部穴径：高さ350mm×幅230mm			
安全装置	・立消え安全装置・過圧防止安全装置・過熱防止装置 ・空だき安全装置・HCT/ループ			
付属品	取扱説明書・工事説明書・保証書			

※浴槽180ℓの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。

◎本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

◎出湯能力は計算値です。

◎使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のときです。

仕様

■仕様

型番	31-836型-837型-838型-839型			
型式名	RBF-65NDW			
外形寸法(mm)	高さ640×幅230×奥行560			
質量(kg)	本体18.0 給排気筒 200型 3.5			
点火方式	圧電点火式			
配管口径	ガス	15A(R1/2)		
	給水	15A(R1/2)		
	給湯	15A(R1/2)		
1時間当りのガス消費量	給湯(大)	ふろ	同時使用時	
	都市ガス用(3kW/kcal/h)	14.4(12,400)	9.88(8,500)	23.8(20,500)
	LPGガス用(kg/h)	14.4(1.03)	9.94(0.71)	23.9(1.71)
出湯能力(ℓ/分)	水温+15℃上昇	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
	都市ガス用13A	(10.7)	6.5	4.0
	LPGガス用	(10.6)	6.5	4.0
※沸き上がり時間(分)	都市ガス用13A	44		
	LPGガス用	44		
循環口取付口径	φ45mm			
給湯	最低作動水压	出湯管 高29.4kPa～低39.2kPa(高0.3kgf/cm ² ～低0.4kgf/cm ²)		
	水圧	シャワー 高49.0kPa～低58.8kPa(高0.5kgf/cm ² ～低0.6kgf/cm ²)		
給排気筒	排気筒口径: 高さ350mm×幅230mm			
安全装置	・立消え安全装置・過圧防止安全装置・過熱防止装置 ・空だき安全装置・HCTJバルブ			
付属品	取扱説明書・工事説明書・保証書			

※浴槽180ℓの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
 ◎本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
 ◎出湯能力は計算値です。
 ◎使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のときです。

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

- 給水元栓・ガス栓を閉め、水抜きを行ってください。(15ページの「機器内の水を抜く方法」をご覧ください。)浴槽の水も抜いてください。
- 再使用するときは、しばらく水を流してから使用してください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 18ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
 なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名………ガスBFふろがま(シャワー付)
2. 品番………機器の前面に書いてあります。

例 (N)31-814

大阪ガス株式会社

3. 故障・異常の現象………できるだけ詳しく
4. お客様名・住所・電話番号

転居される場合

- ガスには都市ガス数種類およびLPGガスの区分があります。

警告

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガスにご相談ください。

- 転居にともなう、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証書について

- この機器には保証書がついています。
 このガスBFふろがま(シャワー付)は保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 修理用性能部品の最低保有期間について
 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
 この機器の修理用性能部品の最低保有期間は7年(32-880~883・31-836~839型は10年)です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。